

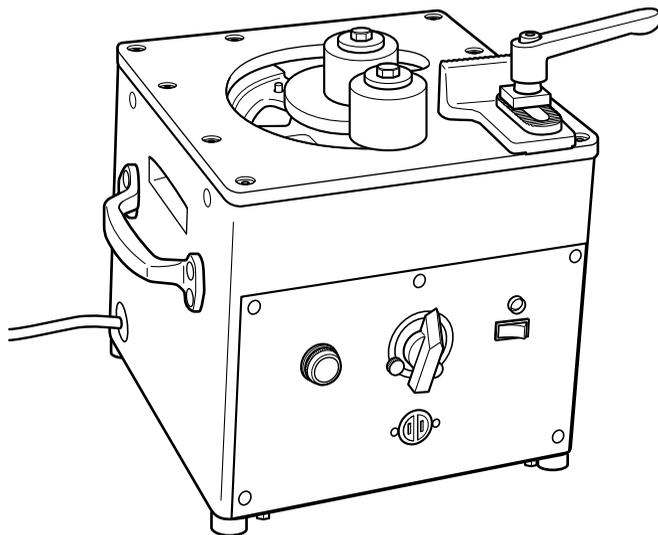
HiKOKI

鉄筋ベンダ

19 mm VB 19

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

目 次

	ページ
電動工具の安全上のご注意	2
鉄筋ベンダの使用上のご注意	5
各部の名称	6
仕様	7
標準付属品	7
別売部品	8
用途	8
作業前の準備	9
ご使用前に	10
曲げ方法	11
カラー、ローラーの交換方法	13
フットスイッチの使い方	13
スタンドセットの使い方	14
保守・点検	15
ご修理のときは	裏表紙

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠警告**」、「**⚠注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「**⚠注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
 - 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。

警告

- ⑨ **保護メガネを使用してください。**
 - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のところがった所に近づけないでください。
- ⑪ **加工する物をしっかりと固定してください。**
 - 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑫ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑬ **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - 継ぎ（延長）コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑭ **次の場合は、電動工具のスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。**
 - 使用しない、または、修理する場合。
 - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑮ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
 - 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしであることを確認してください。
- ⑯ **不意な始動は避けてください。**
 - 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - さし込みプラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑰ **屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用してください。**
 - 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ（延長）コードを使用してください。

警告

⑱ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑲ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

⑳ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

㉑ 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

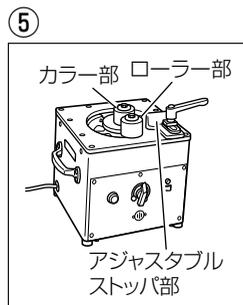
- この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

鉄筋ベンダの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、鉄筋ベンダとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② 必ずアース（接地）してください。
故障や漏電などのとき、感電の恐れがあります。（詳細は、9ページの「1. アース（接地）、漏電しゃ断器の確認」の項をご参照ください。）
- ③ 仕様欄にある機体の最大能力を超えた作業はしないでください。
また、PC 鋼などの硬い材料を曲げたりしないでください。
鉄筋が折れ飛散するおそれがあり、事故の原因になります。
- ④ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音や異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検、修理を依頼してください。
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑤ スイッチを操作する際には、カラー部、アジャスタブルストップ部、およびローラー部には絶対に手を近づけないでください。
けがの原因になります。
- ⑥ 誤って落としたり、ぶつけたときは、カッターや機体などに破損や亀裂、変形のないことをよく点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。



⚠ 注意

- ① カラー、ローラー及び付属品は、取扱説明書にしたがって確実に取り付けてください。
確実でないと、はずれたりして、けがの原因になります。
- ② カラー、ローラーの点検、清掃、交換の際は、さし込みプラグを電源から抜いてください。
誤ってスイッチを入れると、けがの原因になります。
- ③ 本機を持ち運ぶ場合は、必ず本体に付いている取っ手を持って運んでください。
本体側面の鉄筋かす取り出し用窓を持ちますと、けがの原因になります。

各部の名称

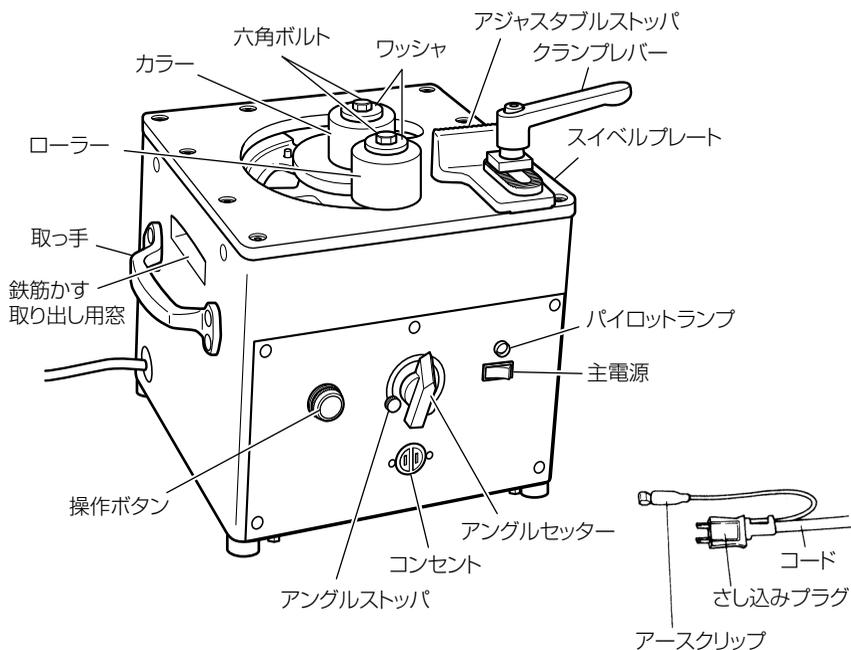


図 1

仕 様

使 用 電 源	単相交流 50 / 60 Hz 共用 電圧 100 V								
能 力	(1) 材質 : SD 295、SD 345 鉄筋 (2) 曲げ可能鉄筋径 : 8 ~ 19 mm (3) 曲げ角度 : 0 ~ 180 度 (4) 曲げ半径 : R 15 ~ R 32 (5) 材料径と加工本数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>一度に加工 できる本数</td> <td>ϕ 10 mm 4本</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ϕ 13 mm 3本</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ϕ 16 mm 2本</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ϕ 10 mm 1本</td> </tr> </table>	一度に加工 できる本数	ϕ 10 mm 4本		ϕ 13 mm 3本		ϕ 16 mm 2本		ϕ 10 mm 1本
一度に加工 できる本数	ϕ 10 mm 4本								
	ϕ 13 mm 3本								
	ϕ 16 mm 2本								
	ϕ 10 mm 1本								
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター								
定 格 電 流	11 A								
質 量	42 kg								
コ ー ド	3心キャブタイヤケーブル 2.5 m								

標準付属品

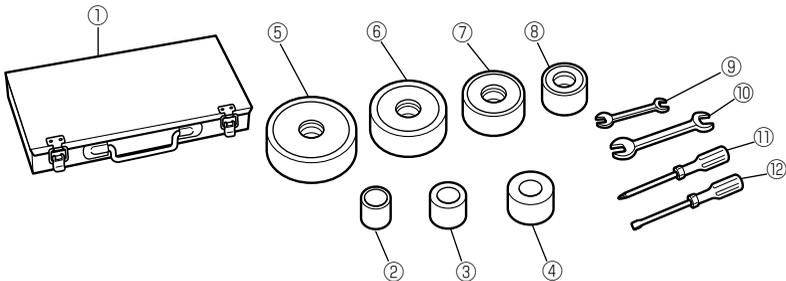


図 2

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| ① 付属品収納ケース…………… 1 個 | ⑧ ローラー 19 …………… 1 個 |
| ② カラー 13 …………… 1 個 | ⑨ 10 × 13 両口スパナ…………… 1 個 |
| ③ カラー 16 …………… 1 個 | ⑩ 17 × 19 両口スパナ…………… 1 個 |
| ④ カラー 19 …………… 1 個 | ⑪ プラスドライバ…………… 1 個 |
| ⑤ ローラー 10 …………… 1 個 | ⑫ マイナスドライバ…………… 1 個 |
| ⑥ ローラー 13 …………… 1 個 | |
| ⑦ ローラー 16 …………… 1 個 | |

別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合があります。)

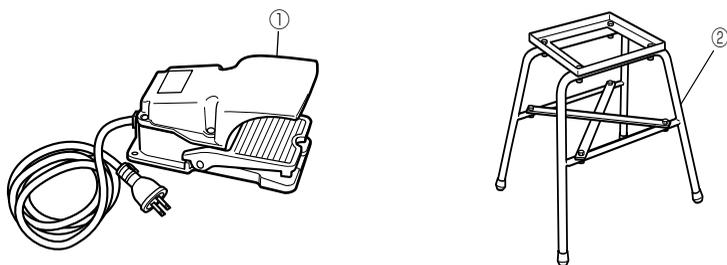


図 3

- ① フットスイッチ
- ② スタンドセット

用 途

○ コンクリート補強用に使用する鉄筋の曲げ作業

注 • ϕ 19 mm より太い鉄筋、または鉄筋以外のものを曲げたりすると、本体を破損させる場合がありますので、絶対にしないでください。

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

1. アース（接地）、漏電しゃ断器の確認……………

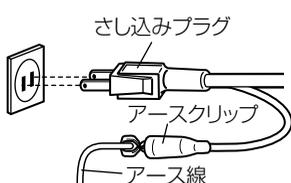
ご使用にさきだち、本機が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置（以下、漏電しゃ断器と言います）が設置されていることを確認してください。

また、本機は必ずアース（接地）をしてください。定格感度電流 15 ミリアンペア（mA）以下、動作時間 0.1 秒以下の電流動作型の漏電しゃ断器が設置されている電源でお使いになる場合でも、より安全のためにアースされるようおすすめします。

アースをするときは、下記図のアースクリップをお使いになると便利です。

アースクリップ、アース線は、念のために異常のないことを確認してからご使用ください。テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら、アースクリップと本機金属外枠との間の導通を確認してください。

地中に接地極（アース板、アース棒）を埋め、アース線を接続するなどの接地工事は、電気工事士の資格が必要です。お近くの電気工事店にご相談ください。なお、アース線をガス管に取付けると爆発の恐れがありますので、絶対にしないでください。



漏電しゃ断器やアース（接地）については、次の法規がありますので、ご参照ください。

労働安全衛生規則(第 333 条、第 334 条)
電気設備の技術基準(第 18 条、第 28 条、第 41 条)

2. 継ぎ（延長）コード……………

警告

●継ぎ（延長）コードは、損傷のないものを使用してください。

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

導体公称断面積	最大長さ
1.25 mm ²	10 m
2 mm ²	15 m
3.5 mm ²	30 m

左の表は、使用できるコードの太さ（導体公称断面積）とその最大長さを示します。

必ずアース（接地）できる接地用の 1 心をもつ 3 心キャブタイヤケーブルをお使いください。

3. 作業環境の整備・確認……………

作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

警告

- ご使用前に次のことを確認してください。1～4項については、さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。

1. 使用電源を確かめる……………

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり、機体が破損するおそれがあります。また、直流電源や、エンジン発電機で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2. スイッチが切れていることを確かめる……………

主電源、操作ボタンが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと不意に起動して、思わぬ事故のもとになります。

スイッチは、主電源のスイッチを入側に倒し、操作ボタンを押すと入り、離すと切れます。操作ボタンを押して、離れたとき操作ボタンが戻ることを必ず確認してください。

3. カラー、ローラーの取り付けボルトを確かめる……………

カラー、ローラーを取り付ける六角ボルトが、確実に締付け、ゆるめができませんことを確かめてください。(カラー、ローラーは付属品)

ゆるんだ状態でご使用になりますと、本体、カラー、ローラーの破損をまねくだけでなく、事故の原因になります。

4. カラー、ローラーに異常がないことを確かめる……………

カラー、ローラーに異常がないことを確かめてください。

“摩耗”、“変形”、“割れ”の生じたカラー、ローラーを使い続けると、本体、カラー、ローラーの破損をまねくだけでなく、事故の原因になります。

5. 電源コンセントの点検……………

さし込みプラグをさし込んだとき、ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと過熱して事故の原因になります。

曲げ方法

警告

- 本機は安全で安定した所に置いて使用してください。足場等が不安定な所で作業しますと、本体が倒れるおそれがあります。
- 運転中は、絶対にカラー、ローラー部に手を近づけないでください。
- 鉄筋 (SD 295、SD 345) 以外の材料を曲げないでください。材料が折れて飛散するおそれがあります。
- ϕ 10 mm 鉄筋は 4 本以下、 ϕ 13 mm 鉄筋は 3 本以下、 ϕ 16 mm 鉄筋は 2 本以下、 ϕ 19 mm 鉄筋は 1 本ずつ曲げてください。
- 曲げ材料の旋回範囲に人がいないことを確認してから作業してください。
- 鉄筋はカラー、ローラー及びアジャスタブルストップの高さより低くなるようセットしてください。曲げ作業中に鉄筋がはずれ飛散するおそれがあります。

1. アングルセッターでの曲げ角の設定……………

アングルセッター表示の角度により、図 4 のような状態に曲げられます。

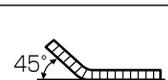
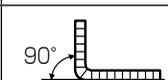
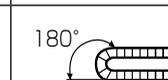
アングルセッター表示	45°	90°	135°	180°
鉄筋の状態				

図 4

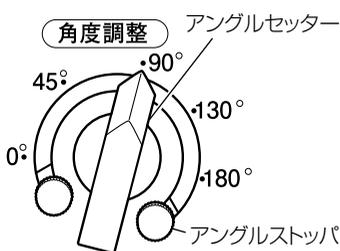


図 5

アングルセッターを希望する曲げ角度に合わせてください。

合わせた後、実際に鉄筋を曲げて角度を確認してください。(目盛は目安です。実際に曲げて微調整をしてください。)

アングルストップはツマミをゆるめるとスライドしますので、アングルセッターを固定する際に使用してください。

また、鉄筋を 90°、135° などに連続して曲げる場合、アングルセッターを各々の角度に合わせてる際に、アングルストップを位置合わせし、固定しておくことで連続作業が可能です。

2. 鉄筋径に合わせたカラー、ローラーの選び方…………

曲げる鉄筋径に合わせ、カラー、ローラーを選定してください。

鉄筋径 (mm)	カラー 刻印番号	ローラー 刻印番号	一度に加工 できる本数	曲げ半径
φ 10	センター軸のまま	R 10	4本	R 15
φ 13	C 13	R 13	3本	R 19
φ 16	C 16	R 16	2本	R 24
φ 19	C 19	R 19	1本	R 32

※曲げ半径は、図 4 に示す鉄筋状態の内側の半径です。

3. 通常の曲げ方法…………

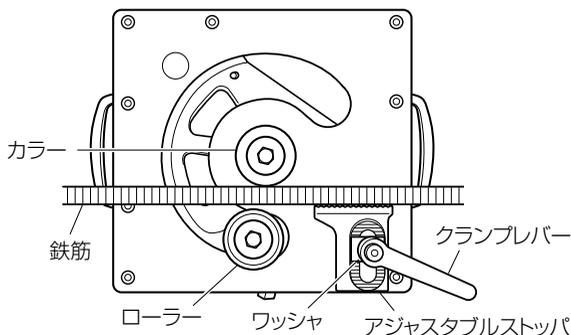


図 6

- (1) 曲げる鉄筋径に合わせ、カラー、ローラーを選び、センター軸、ローラー軸に各々取り付けます。
- (2) アングルセッターを希望の角度にセットします。
- (3) 鉄筋を図 6 のようにカラーとローラーの間に入れ、鉄筋がまっすぐになるようクランプレバーを左へ回してゆるめ、アジャスタブルストップを調整します。アジャスタブルストップとワッシャの山と谷を合わせクランプレバーを右へ回し、十分に締付け固定してください。
(クランプレバーは、上に引くとレバー部分がフリーになりますので、作業のじゃまにならない位置へ回してください。)
- (4) 主電源のスイッチを入側へ倒し、パイロットランプが点灯することを確認してください。操作ボタンを押し続け、鉄筋を曲げます。
- (5) ローラー軸が戻ろうとする動作になるまで操作ボタンを押し続けてください。(戻ろうとする動作をしたとき、操作ボタンを離すと、ローラー軸が元の位置へ戻ります。)

カラー、ローラーの交換方法

⚠ 警告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1. 取りはずし……………

カラー、ローラーを固定している六角ボルトを、付属の 17 × 19 両口スパナでゆるめてはずしますと、取りはずせます。(図 1 参照)

2. 取付け……………

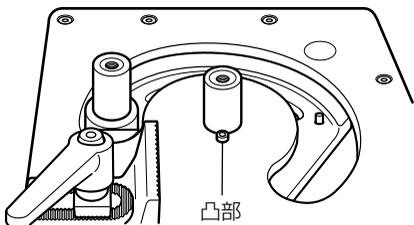


図 7

- (1) カラー、ローラーの取付け部を清掃します。
- (2) カラーの切欠部を凸部に合わせ取付けます。(図 7)
ローラーは、刻印が上になるよう取付けます。
- (3) カラー、ローラーともに、ワッシャを取付けてから、六角ボルトを十分に締付け、固定します。(図 1 参照)

フットスイッチの使い方 ……(別売部品)

⚠ 警告

- 曲げ作業をするとき以外は、フットスイッチから足を離しておいてください。また、作業員以外がフットスイッチに触れないようにしてください。

1. 取付方法……………

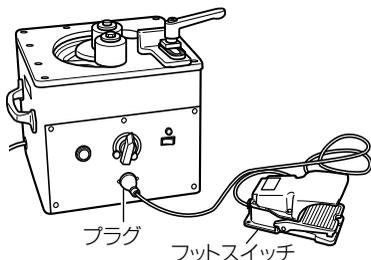


図 8

フットスイッチのプラグを本体正面のコンセントへさし込むと使用できます。

2. 使用方法……………

操作ボタンにて操作する場合と同様に鉄筋をセットし、フットスイッチのペダルを踏み続けるとローラー軸が動作します。

操作ボタン同様、ローラー軸が戻ろうとする動作になるまで踏み続けてください。(戻ろうとする動作をしたとき、ペダルから足を離しますとローラー軸が元の位置へ戻ります。)

スタンドセットの使い方 ……(別売部品)

⚠警告

- スタンドセットに本体を確実に固定してください。確実にないと、スタンドセットから本体がはずれ、事故の原因になります。
- 本機を輸送する場合は、必ずスタンドセットから本体を取りはずしてください。取りはずさないままですと、倒れたりして、事故の原因になります。

1. 取付方法……………

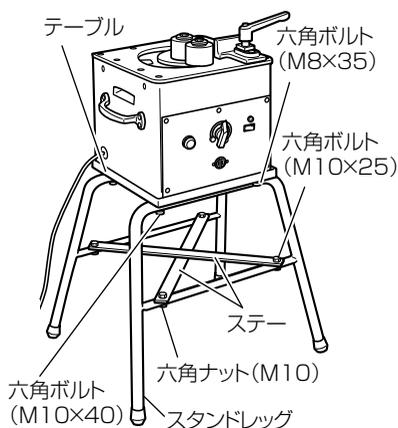


図 9

- (1) スタンドレッグにテーブルを六角ボルト (M10 × 40)、スプリングワッシャ (M10) 各 4 個で十分に締付け、固定します。
- (2) スタンドレッグにステアを六角ボルト (M10 × 25)、スプリングワッシャ (M10)、六角ナット (M10) 各 4 個で十分に締付け、固定します。
- (3) テーブルに本体を乗せ、六角ボルト (M8 × 35)、スプリングワッシャ (M8) 各 4 個で十分に締付け、固定します。

2. 使用方法……………

スタンドセットの各ボルトが確実に締付けられていることを確認し、12 ページの通常の曲げ方法により、作業してください。

保守・点検

⚠ 警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いてください。

1. 使用後の手入れ……………

使用後は、カラー、ローラー部周辺やスィベルプレート上面をブラシなどで掃除してください。

2. 各部取付けネジの点検……………

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。ゆるんだままお使いになりますと、けがなど事故の原因になります。

3. カーボンブラシの点検……………

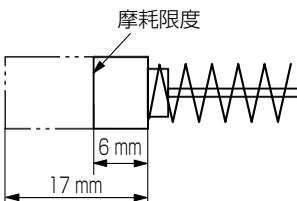


図 10

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因になりますので、長さが摩耗限度(6 mm)ぐらいになりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。

- 注** •新品と交換の際は、必ず弊社指定のカーボンブラシを使用してください。

交換方法

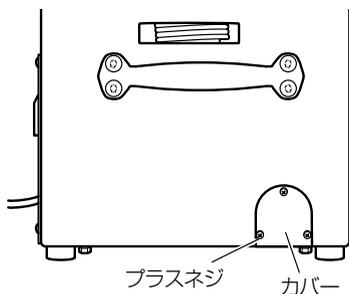


図 11

- (1) 本体側面のプラスネジ (3 本) を付属のプラスドライバーではずし、カバーを取りはずします。(図 11)
- (2) 本体底部の六角ボルト (8 本) を付属の 10 × 13 両口スパナではずし、十字穴付六角ボルトを付属のプラスドライバーではずし、ボトムプレートを取りはずします。(図 12)
- (3) ブラシキャップを付属のマイナスドライバーではずしますと、カーボンブラシが取り出せます。(図 13)

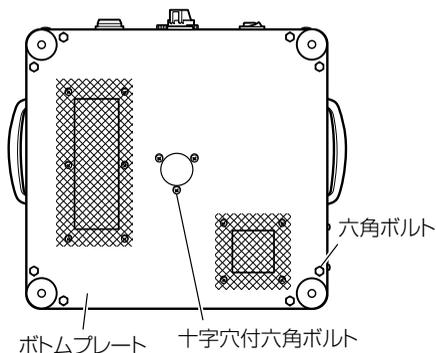


図 12

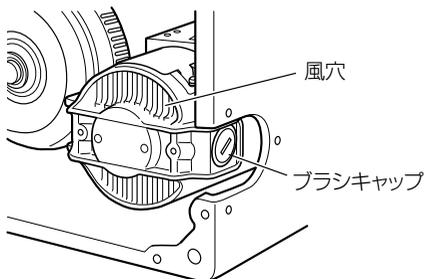


図 13

4. モーター部の取扱いについて……………

モーター部の巻線部分は本機の心臓部ともいえます。巻線部分にキズをつけたり、洗油や水をつけたりしないよう十分注意してください。

- 注** •モーター内部にゴミやほこりがたまると、故障の原因になります。
50 時間ぐらい使用しましたら、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジングの風穴 (図 13 参照) から吹き込んでください。
ゴミやほこりの排出に効果があります。

5. 表面のよごれの清掃……………

ガソリン、シンナー、石油、灯油類を付着させると塗装をいためますので、乾いた布か石けん水をつけた布などでふいてください。

水がモーター部に入るとモーターの絶縁を弱めますので、水あらいなどは絶対にしないでください。

6. 製品や付属品の保管

製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- | | | | |
|---|---|---|---------------------|
| { | <ul style="list-style-type: none">○お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所○軒先など雨がかったり、湿気のある場所○温度が急変する場所○直射日光の当たる場所○引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所 | } | このような場所
には保管しない。 |
|---|---|---|---------------------|

メ 毛

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理
を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点
をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>